



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 猛
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 合田 修

TEL 06-6454-2331

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	43,214	12.0	2,973	25.3	3,038	30.2	2,155	67.6
26年3月期第3四半期	38,588	1.5	2,373	80.9	2,334	64.7	1,285	△20.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,535百万円 (62.0%) 26年3月期第3四半期 1,565百万円 (△2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	67.70	—
26年3月期第3四半期	40.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	71,888	30,645	42.6
26年3月期	73,657	28,843	39.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 30,628百万円 26年3月期 28,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	2.5	3,700	△25.6	3,700	△24.9	2,200	△19.9	69.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	31,850,000 株	26年3月期	31,850,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	15,340 株	26年3月期	14,275 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	31,835,369 株	26年3月期3Q	31,836,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における我が国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果等から企業収益に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にあり、世界経済においても米国経済が堅調に推移いたしました。一方、中国経済の減速が鮮明となり、また、ウクライナ問題や中東情勢などの新たな不安定要素が現れるなど、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような企業環境下、積極的な事業展開を進めました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,214百万円（前年同四半期比12.0%増）となり、利益面におきましては、営業利益は2,973百万円（前年同四半期比25.3%増）、経常利益は3,038百万円（前年同四半期比30.2%増）、当第3四半期純利益は2,155百万円（前年同四半期比67.6%増）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

国内および海外向けの機関の販売台数が増加したことに加え、メンテナンス等の売上が増加したこと等により、売上高は38,296百万円（前年同四半期比22.3%増）、セグメント利益は4,692百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

ロ) 陸用機関関連

国内向け機関の販売台数が減少したこと等により、売上高は3,498百万円（前年同四半期比35.5%減）、セグメント利益は54百万円（前年同四半期は108百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は41,795百万円（前年同四半期比13.7%増）、セグメント利益は4,746百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、売上高、セグメント利益とも減少となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微減、セグメント利益は微増となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高は微増、セグメント損失は微減となりました。

従いまして、当部門の売上高は1,419百万円（前年同四半期比22.8%減）、セグメント利益は280百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部では、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ、4,314百万円減少となりました。また、減価償却に伴い、有形固定資産は前連結会計年度末に比べ、632百万円減少となりました。一方で、たな卸資産が前連結会計年度末に比べ、3,863百万円増加となりました。その結果、資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、1,768百万円減少し、71,888百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ、601百万円増加となりました。また、長期借入金の残高は前連結会計年度末に比べ、3,165百万円増加となりましたが、短期借入金の残高が前連結会計年度末に比べ、5,262百万円減少となりました。その結果、負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、3,570百万円減少し、41,243百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の1,422百万円増加などにより、前連結会計年度末に比べ、1,801百万円増加し、30,645百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月24日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会社方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が742百万円増加し、利益剰余金が478百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,144	25,208
受取手形及び売掛金	15,747	11,432
たな卸資産	7,897	11,761
繰延税金資産	1,841	1,818
その他	1,020	2,013
貸倒引当金	△67	△9
流動資産合計	53,583	52,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,025	6,830
機械装置及び運搬具（純額）	4,601	4,313
土地	3,166	3,165
建設仮勘定	373	250
その他（純額）	606	579
有形固定資産合計	15,772	15,140
無形固定資産	499	480
投資その他の資産		
投資有価証券	960	1,077
長期貸付金	5	3
繰延税金資産	2,058	2,151
その他	836	824
貸倒引当金	△59	△15
投資その他の資産合計	3,801	4,042
固定資産合計	20,073	19,663
資産合計	73,657	71,888
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,467	14,069
短期借入金	9,607	4,345
リース債務	187	187
未払法人税等	1,531	289
賞与引当金	647	238
役員賞与引当金	55	41
未払費用	3,056	3,195
その他	3,570	2,657
流動負債合計	32,123	25,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
固定負債		
長期借入金	3,487	6,653
リース債務	378	371
役員退職慰労引当金	342	379
退職給付に係る負債	5,863	6,190
資産除去債務	134	135
その他	2,483	2,488
固定負債合計	12,689	16,219
負債合計	44,813	41,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,170	2,170
利益剰余金	24,662	26,084
自己株式	△8	△9
株主資本合計	29,258	30,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	242
繰延ヘッジ損益	-	△49
為替換算調整勘定	△34	86
退職給付に係る調整累計額	△574	△331
その他の包括利益累計額合計	△431	△52
少数株主持分	16	17
純資産合計	28,843	30,645
負債純資産合計	73,657	71,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	38,588	43,214
売上原価	28,846	32,237
売上総利益	9,741	10,977
販売費及び一般管理費		
販売費	5,447	5,950
一般管理費	1,921	2,052
販売費及び一般管理費合計	7,368	8,003
営業利益	2,373	2,973
営業外収益		
受取利息	16	24
受取配当金	23	16
為替差益	-	16
貸倒引当金戻入額	31	90
雑収入	55	54
営業外収益合計	127	201
営業外費用		
支払利息	121	108
為替差損	17	-
雑損失	27	28
営業外費用合計	165	136
経常利益	2,334	3,038
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	36	104
特別利益合計	37	105
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	23	41
災害による損失	174	-
その他	0	0
特別損失合計	198	42
税金等調整前四半期純利益	2,172	3,102
法人税、住民税及び事業税	713	889
法人税等調整額	172	56
法人税等合計	886	945
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	2,156
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,285	2,155

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	2,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	65
繰延ヘッジ損益	△8	△49
為替換算調整勘定	185	120
退職給付に係る調整額	-	243
その他の包括利益合計	278	379
四半期包括利益	1,565	2,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,564	2,534
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	舶用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	31,324	5,425	36,750	1,837	38,588	—	38,588
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,324	5,425	36,750	1,837	38,588	—	38,588
セグメント利益又 は損失(△)	4,072	△108	3,963	330	4,294	△1,921	2,373

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業及び売電関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	舶用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	38,296	3,498	41,795	1,419	43,214	—	43,214
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	38,296	3,498	41,795	1,419	43,214	—	43,214
セグメント利益	4,692	54	4,746	280	5,026	△2,052	2,973

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業及び売電関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率
			%
内燃機関部門	馬力		
船用機関関連	1,004,098	38,296	22.3
陸用機関関連	20,016	3,498	△35.5
その他の部門	—	943	△31.1
合 計		42,738	12.1

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	1,081,113	40,812 (26,892)	0.9	1,601,736	36,224 (20,415)	15.2
陸用機関関連	97,772	6,561 (498)	16.4	131,258	5,777 (63)	45.2
その他の部門	—	1,071 (—)	△19.4	—	240 (—)	94.5
合 計		48,445 (27,390)	2.2		42,241 (20,479)	18.8

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②()内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	輸出比率	前年同四半期増減率
			%	%
内燃機関部門	馬力			
船用機関関連	1,004,098	38,296 (26,495)	69.2	22.3
陸用機関関連	20,016	3,498 (437)	12.5	△35.5
その他の部門	—	1,419 (—)	—	△22.8
合 計		43,214 (26,933)	62.3	12.0

(注) ①()内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア (82.6%)、欧州 (9.7%)、中南米 (5.2%)、北米 (2.2%)、その他 (0.3%)

③「その他の部門」には産業機器関連 (943百万円)、不動産賃貸関連等 (475百万円)を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。